

## 中島中学校 創立45周年記念事業の地域連携の取り組み（湘南地区まちぢから協議会）

### 【取り組みの概要】

昭和51年に設立された茅ヶ崎市立中島（なかじま）中学校は、令和2年に創立45周年を迎えました。

この記念すべき節目をきっかけにこれまでの歩みを振り返り、今後のますますの発展を目指すため、「創立45周年記念事業」を計画しておりました。

しかしながら、世界中に広がっている新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、当初予定していた事業の一部を見直し、感染防止の対策を図り次の事業を実施することになりました。

事業内容は、生徒会本部役員の皆さんの提案で、世界の温暖化に対する危機の啓発や本校の緑化を目的として、校庭に新しく大きな花壇を造る事業です。

この事業を実施するにあたり、かねてより地域の方々との強い絆と信頼関係を構築している中島中学校は、湘南地区まちぢから協議会や青少年育成推進協議会と連携を取りながら準備を進め、令和2年11月21日（土）に新しく造った花壇にたくさんのパンジーやお花を植えることができました。

この素晴らしい取り組みを多くの方々に知ってもらうとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて塞ぎ込んでしまう生活から少しでも勇気と活力を与えられるよう記事掲載を依頼するものです。

### 【花壇造成の経緯】

昨年度、生徒会本部役員の皆さんより、本校の緑化を進めるために、新しく花壇をつくりたいとの提案がありました。地球温暖化に対する危機の啓発という意味もあったようです。昭和51年に開校し、令和2年に創立45周年を迎える本校に、潤いのある空間が増えることは、とても素晴らしいことだと思い、教育施設業務員さんに造営を依頼しました。

当初は、令和元年度卒業式までの完成をめざしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業となり、造営計画はストップすることになりました。

令和2年度には、前期終業式を行う10月9日に創立45周年記念集会を計画していました。この日、地域の方々に花壇をお披露目するとともに、本校卒業生でリオデジャネイロオリンピック、シンクロナイズドスイミングのチームで銅メダルを獲得した小俣夏乃さんをお招きし、記念講演をしていただく予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で記念集会も中止せざるおえなくなりました。

なお、花壇の造営は予定より大きく遅れましたが、近隣の教育施設業務員さんの協力を得て、9月に完成しました。そこで、10月6日には、生徒会本部役員の皆さんと教職員の手により、職員玄関前と校歌の石碑横の花壇にパンジー、ペゴニア、ガーベラとチューリップの球根等を植えました。

また、柳島小学校区青少年育成推進協議会の定例会等で、この話をしたところ、湘南地区まちぢから協議会様が協力してくださることになりました。11月14日には、テニスコート前の花壇を中心に肥料を撒き、11月21日には、花をたくさん植えることができました。

急な話だったにもかかわらず、両日とも、多数の地域の皆様が来校し、作業にご助力いただきました。地域力の高さを実感すると同時に、深く感謝しております。

本校の学校だよりのタイトルは「中島丸」と言います。現在はコロナ禍の荒波の中にいますが、地域との結びつきの強い「中島丸」は、必ずこれを乗り越えていくと信じています。

最後になりますが、今後は、生徒会本部役員の皆さんの気持ちを受け継ぎ、この「創立45周年記念」花壇を大切に維持していきたいと思います。また、コロナ禍においても、本校と地域との結びつきがさらに強くなったことを本当にうれしく思っています。「チーム中島」は、創立50周年に向け、新たなスタートを切ります。

#### 【中島中学校高橋校長のコメント】

本校の大きな特色は、地域との結びつきの強さです。学校教育目標に「郷土の文化を愛する人になろう」があり、めざす学校像に「『地域に学び、地域を愛し、地域に貢献できる』生徒を育成できる学校」とあるのもその表れです。

このたび、生徒会本部役員の皆さんの提案を受け、湘南地区まちぢから協議会様の全面的な協力のもと完成した「創立45周年記念」花壇は、本校のシンボルとも言うべきものです。この花壇を大切に維持するとともに、コロナ禍においても、本校と地域との結びつきをさらに強固なものにしていきたいと思います。

#### 【前生徒会長のコメント】

茅ヶ崎市立中島中学校 3年 前生徒会長 岩渕 然

私が、緑化活動を提案したきっかけは、地球温暖化の現状についてもっと知ってほしかったからです。そこで、緑が少ない本校で、生徒の皆さんに種や球根の寄付を募り、緑化をしようと考えました。このことを、校長先生に伝え、素晴らしい花壇を造っていただきました。また、地域の方からは、花や球根の寄付をいただき、とても感謝しています。これからも、生徒会で緑化活動を続け、地球温暖化や世界で起きていることにも目を向けてほしいです。

※岩渕然さんは、令和元年度後期から令和2年度前期までの任期中で生徒会長を務めたため「前生徒会長」と記載されています。現在は、2年生が生徒会長を務めています。

#### 【湘南地区まちぢから協議会後藤会長のコメント】（地域組織代表者）

湘南地区まちぢから協議会としては、事業の趣旨に賛同して、球根、肥料を購入し、さらに、個人的に育てていたパンジー等の苗250株を提供し、一緒に花壇造りをお手伝いしました。

世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスの状況や人と人とのつながりや交流が希薄化している現代社会の中、湘南地区は様々な事業を通じ、交流を図っています。

【湘南地区まちぢから協議会こども育成部会南部会長】（地域組織実務者）

校長先生や学校関係者の皆様、地域の皆様のご協力によって子どもたちの住みやすい環境になっています。

世の中は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、暗いニュースばかり続きますが、この取り組みが少しでも明るい話題になれば幸いです。

来年の春、新型コロナウイルスの終息を願うとともに、満開になった花々を楽しみにしています。

【当日の様子】



花を植える生徒



生徒と地域が連携し花の植え替え